

色材セミナー2018

『焼付けない自動車ボディー仕上げの可能性』

温室効果ガスであるCO2の排出低減は喫緊の課題であり、基幹産業である自動車製造でも取組まれているところであります。しかし、車体塗装では焼付け工程で消費するエネルギーが大きいことから、将来は焼付けなしで自動車を仕上げる技術が望まれます。今回、3名の講師を招いてご講演いただき、聴講者も含めた討論の場になればと考えております。また、セミナー後に講師を囲んでの技術交流会も開きますので、あわせてご参加をお待ちしております。

主催 (社)色材協会 中部支部

協賛 名古屋テキスタイル研究会, 日本色彩学会東海支部, 日本デザイン協会, 名古屋産業振興公社, 愛知工研協会, 高分子学会東海支部, 中部塗装技術研究会, 東海化学工業会, 日本塗料工業会, 日本化学会東海支部, 日本接着学会中部支部, 有機合成化学協会東海支部, 表面技術協会中部支部, 日本油化学会東海支部, 化学工学会東海支部, 日本分析化学会中部支部, 電気化学会東海支部, 自動車技術会中部支部

日時 平成30年3月16日(金) 13:00~16:50

場所 名古屋市工業研究所 第2会議室(管理棟4F) 名古屋市熱田区六番3丁目4-41
(地下鉄, 市バス, 「六番町」下車, 南西へ徒歩約2分)

演題・講師

1. 塗膜の電子線硬化技術

株式会社アーテック 取締役 技術部長 畑 宏則 氏

塗膜の電子線硬化技術は、現状では被塗物形状の制約等に課題があるものの、硬化が瞬時で紫外線硬化よりも高速であり、厚膜や顔料を含む系にも適用できるうえ、塗膜は耐久性、耐傷性、耐汚染性、付着性等の屋外用途で重要な性能が非常に優れる。電子線硬化技術のメリット・デメリットを総合的に解説する。

2. 自動車外装への新しい提案 ―Wet工法からDry工法へ―

布施真空株式会社 社長 三浦 高行 氏

3次元表面加飾工法TOMについて解説し、その飛躍的發展として自動車ボディーを含む超大型製品への適用が可能になったNeo-TOM工法を紹介する。この工法は表面加飾の機能・性能の向上とともに作業環境の改善に貢献するCore技術である。

3. 焼付けない自動車仕上げへの期待

トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 有機材料技術部 塗装設計室長 稲垣 朋子 氏

弊社では2015年秋に「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表しており、この中で①新車CO2ゼロ②ライフサイクルCO2ゼロ③工場CO2ゼロ にチャレンジすることを宣言した。現在、工場から排出されるCO2の約1割が塗装工程から発生しており、この工程のエネルギーを画期的に下げる技術を開発し、環境にもお客様にも喜ばれる自動車表面処理を開発したい。

☆事前質問を受付けます。ホームページ申込み欄か、下記申込書への記入をお願いします。(E-mail 不可)

参加費 会員・協賛団体 8,000円, 一般 11,000円, 学生 2,000円 (テキスト代含む、税込)

技術交流会 (講師を囲んで) 会員 無料, 会員外 500円 (管理棟2F, 交流フロア **17:00~18:00**)

定員 100名 (先着順)

申込方法 3月2日(金)までに下記申込書を郵送またはFAX, E-mailでお送り下さい。

申込みフォーム(←ここをクリック)からもお申込みいただけます。 下記ホームページからもお申込みいただけます。

色材協会中部支部 <http://www.shikizai-chubu.org/>

中部科学技術センター 学協会事務局 <http://www.c-goudou.org/>

会費は、みずほ銀行 名古屋支店 普通預金口座No.1106150 色材協会 中部支部宛 振込み、または、下記申込先に現金書留でお送りください。

申込先 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 中部科学技術センター内 色材協会 中部支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469 E-mail: t.imukai@c-goudou.org

色材セミナー2018『焼付けない自動車ボディー仕上げの可能性』参加申込書

社団法人 色材協会中部支部 御中 FAX 052-204-1469

平成 年 月 日

会社名 _____

加入団体名 _____

〒 所在地 および 電話番号 _____

参加者	所属	E-メールアドレス	交流会出欠

参加者 名, 参加費 円を 月 日に送金いたします。

事前に質問などあればご記入ください。予め講師に伝達しますので活発な討論をお願いします。